

環境報告書

2021年度（初版）

活動期間（2021年4月1日～2022年3月31日）

発行日 2023年 2月 25日

株式会社 芸濃

1. 組織の概要

- (1) 事業所名 : 株式会社 芸濃
- (2) 代表者氏名 : 代表取締役社長 楠井 隆
- (3) 所在地 : 芸濃リサイクルセンター : 三重県津市芸濃町椋本 3550番地
- (4) 事業内容 : 産業廃棄物の収集運搬、産業廃棄物処分(中間処理)
土木工事業、上下水道工事業、とび・土工・コンクリート工事業、
機械器具設備工事業、建築工事業
- (5) 資本 : 4,000万円
- (6) 沿革 : 昭和57年11月 芸濃クレーン創業
昭和63年1月4日 株式会社 芸濃 設立
平成6年11月 産業廃棄物収集運搬許可取得
平成12年6月 芸濃リサイクルプラント運用開始
平成12年11月 三重県産業廃棄物処分許可取得
平成26年11月 三重県産業廃棄物収集運搬優良認定
平成26年11月 三重県産業廃棄物処分業優良確認
平成26年12月 岐阜県産業廃棄物収集運搬優良認定
平成26年12月 滋賀県産業廃棄物収集運搬優良認定
平成27年1月 愛知県産業廃棄物収集運搬優良認定
平成29年12月 三重県産業廃棄物処分業優良認定

(7) 事業の規模

- ① 売上 : 1億9278万円 (2021年度分)
- ② 従業員数 : 15名
- ③ 敷地面積 : 延床面積
・本社・事務所 敷地面積:80㎡ 延床面積80㎡
・リサイクルセンター 敷地面積12,521㎡ 延床面積:75㎡

(8) 許認可一覧と許可品目

1) 産業廃棄物関係

許可の内容	有効期限/許可行政	許可品目
産業廃棄物収集運搬業 許可番号: 第02404025041号	有効期限: 令和3年12月17日 ~ 令和8年11月20日 許可行政:三重県	廃プラスチック類、紙くず、木くず、金属くず、ガラスくず 燃え殻、汚泥、廃油、繊維くず、 ゴムくず、がれき類 ばいじん、鉱さい(水銀含有ばいじん等を除く)
産業廃棄物収集運搬業 許可番号: 第02300025041号	有効期限: 令和4年1月28日 ~ 令和9年1月27日 許可行政愛知県	廃プラスチック類、紙くず、木くず、金属くず、ガラスくず 燃え殻、汚泥、廃油、繊維くず、 ゴムくず、がれき類 ダスト類、鉱さい(水銀含有ばいじん等を除く)

産業廃棄物収集運搬業 許可番号: 第02100025041号	有効期限: 令和3年12月17日 ～ 令和8年12月16日 許可行政:岐阜県	廃プラスチック類、紙くず、木くず、金属くず、ガラスくず 燃え殻、汚泥、廃油、繊維くず、 ゴムくず、がれき類 ばいじん、鉱さい(水銀含有ばいじん等を除く)
産業廃棄物収集運搬業 許可番号: 第02501025041号	有効期限: 令和3年12月25日 ～ 令和8年12月24日 許可行政:滋賀県	廃プラスチック類、紙くず、木くず、金属くず、ガラスくず 汚泥、繊維くず、ゴムくず、がれき類 鉱さい(水銀含有ばいじん等を除く)
産業廃棄物処分業(中間処理) 許可番号: 第02424025041号	有効期限: 平成29年12月4日 令和6年11月27日 許可行政:三重県	汚泥(無機質汚泥に限る)、硝子くず・がれき類・コンクリートくず・陶磁器くず(石綿含有産業廃棄物を除く)、 鉱さい(石綿含有産業廃棄物を含む)

・積替え保管:なし

(9)取扱い産業廃棄物

・廃棄物の収集運搬実績

収集運搬実績	単 位	2019年度	2020年度	2021年度
産業廃棄物	t	23,686.19	20,354.53	22,733.30
	t	0	0	〇〇

・運搬車両の種類と台数

車両の種類	台数	最大積載量(kg)	備考
10tダンプ	7台	9,200～10,000	(軽油)
			(軽油)
2tダンプ	1台	2,000	(軽油)
4tユニック車	1台	4,000	(軽油)
7t脱着装置付コンテナ専用車	1台	7,000	産廃専用(軽油)
4t脱着装置付コンテナ専用車	1台	3,850	産廃専用(軽油)
合計	11台		
平成17年度基準(PM10%低減車)	1台		(軽油)
平成17年度基準(NOx・PM10%低減車)	2台		(軽油)
平成21年度基準	3台		(軽油)

・中間処理実績

処理実績	単位	2019年度	2020年度	2021年度
中間処理量(破碎等)	t	35,984.55	32,608.67	30,488.22

・中間処理施設の種類及び処理能力

施設の種類	設置場所	設置年月日	処理能力
破碎施設	津市芸濃町棕本 3550 (芸濃リサイクルセンター内)	平成 12 年 6 月 8 日	ガラスくず等 760 t/日 (8h) 鉋さい 1280 t/日 (8h) がれき類 1280 t/日
混練施設	津市芸濃町棕本 6218-1 (芸濃リサイクルセンター内)	平成 23 年 4 月 15 日	鉋さい 345 t/日 (10h) 汚泥 180 t/日 (10h)
移動式 破碎施設	津市芸濃町棕本 6218-1 (芸濃リサイクルセンター内)	平成 26 年 10 月 24 日	ガラスくず等 210 t/日 (10h) 鉋さい 200 t/日 (10h) がれき類 126 t/日 (10h)

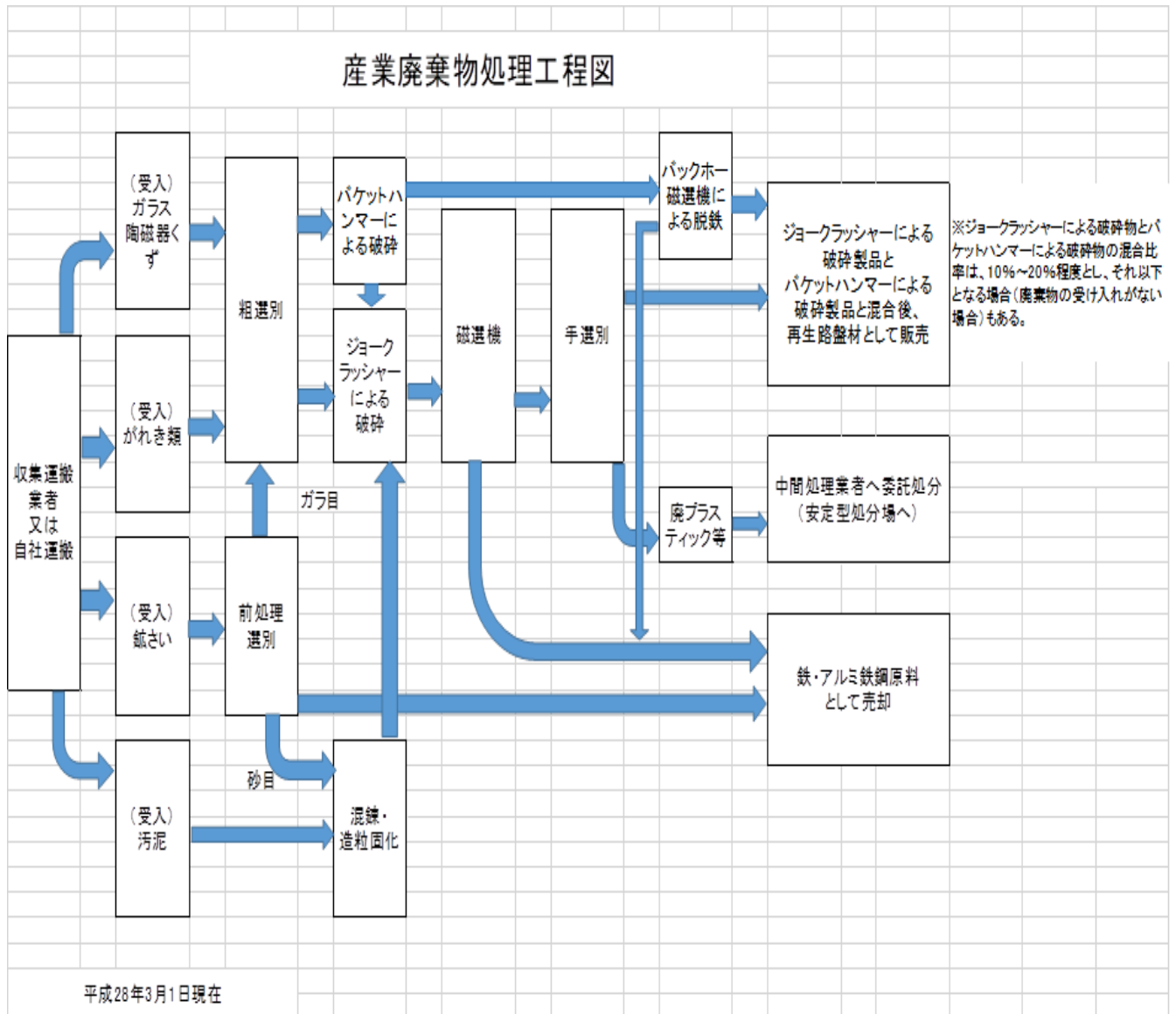
・許可品目：

【破碎施設】 ガラスくず等・鉋さい・がれき類

【混練施設】 鉋さい・汚泥

【移動式破碎施設】 ガラスくず等・鉋さい・がれき類

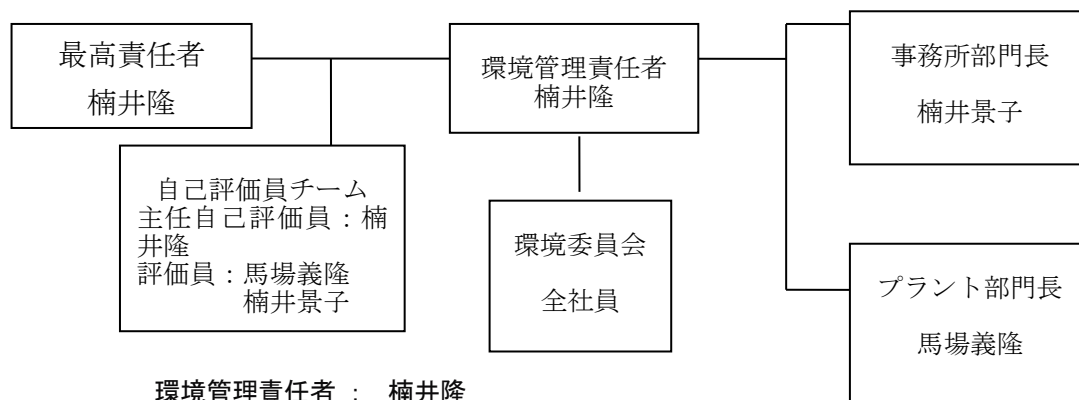
・処理工程図【参考】



(10) 廃棄物の処理料金

運搬距離、廃棄物内容、回収形態等により、都度見積もりをおこなう。

(11)環境活動の取り組み体制



環境管理責任者 : 楠井隆

担当者連絡先 : TEL059-265-4044 FAX :059-265-4047

2. 登録対象

(1)登録内容

M-EMS登録証:

初回登録日 2019年5月1日

登録有効期間 : 2023年4月30日

登録番号 : M-EMS2W-0003 KES2W-5-0003

(2)登録範囲

産業廃棄物の収集運搬、産業廃棄物処分（中間処理）

土木工事業、上下水道工事業、とび・土工・コンクリート工事業、

機械器具設備工事業、建築工事業に係る全ての事業活動

(3)対象事業所

芸濃リサイクルセンター: 三重県津市芸濃町棕本 3550番地

3. 環境宣言

環 境 宣 言

基本理念

株式会社 芸濃は、地球環境の保全が人類共通の最重要課題の一つであることを認識し、全組織を挙げて環境負荷の低減及び環境保護に努力します。

方針

株式会社 芸濃は、産業廃棄物の収集運搬業務（積替え保管を含む）及び産業廃棄物中間処理業務に係わる全ての活動、製品及びサービスの環境影響を低減するために、次の方針に基づき環境マネジメント活動を推進して地球環境との調和を目指します。

1. 当社の活動、製品及びサービスに係わる環境影響を常に認識し、環境汚染の予防及び環境保護を推進するとともに、環境マネジメント活動の継続的改善を図ります。
なお環境保護には、持続可能な資源の利用、気候変動の緩和及び気候変動への適応、並びに生物多様性及び生態系の保護などを含みます。
2. 当社の活動、製品及びサービスに係わる環境関連の法的及びその他の要求事項を順守します。
3. 当社の活動、製品及びサービスに係わる環境影響のうち、以下の項目を環境管理重点テーマとして取り組みます。
 - (1) リサイクル率の維持
 - (2) 廃棄物適正処理の推進（分別方法の指導・提案）
 - (3) 廃棄物の処理量当たりの電力使用量維持
 - (4) 廃棄物の処理量当たりの燃料使用量維持
 - (5) 緑化活動
4. 一人ひとりが環境影響改善活動を積極的に実践できるように、この環境宣言を組織の全員に周知するとともに一般の人々が入手できるようにします。
5. 三重県及び津市の環境改善活動に積極的に参画します。

上記の方針達成のために、環境改善目標を設定し、定期的に見直し環境マネジメントシステムを推進します。

制定日 2012年 6月 1日

改訂日 2022年 3月 19日

株式会社 芸濃

代表取締役 楠井 隆

4. 環境改善目標

2021年度以降3年間の環境改善目標

(基準年度：2020年)

環境改善目標 (最終年度の目標)		単位	(基準年度実績) 2020年度		目標値・実績		
					2021年度	2022年度	2023年度
二酸化炭素 排出量の削減	電力使用量 基準年度比 維持	kWh/t	89,558kWh/年 2.750	目標	2.750	2.750	2.750
				実績	2.852 未達		
	ガソリン使用量 基準年度比 維持	ℓ/t	102,756 ℓ 3.155	目標	3.155	3.155	3.155
				実績	2.886 達成		
リサイクル(資源化)率 基準年度実績の維持		%	0.999	目標	0.999	0.999	0.999
				実績	0.999 達成		
分別方法の提案・指導 基準年度比維持		件	60	目標	60	60	60
				実績	60 達成		
緑化活動 4本/年植樹		本	4	目標	4	4	4
				実績	4 達成		

CO₂ 排出係数 : 中部電力 ; (2018 年実績) 0.452 kg-CO₂/kWh ガソリン ; 2.32 kg-CO₂/ℓ

軽油 ; 2.58 kg-CO₂/ℓ

出典 : 2018年 (H30年) 環境省より

化学物質においては、その使用実績がありません。

5. 環境改善目標と実績

2021年度環境活動実績

環境改善目標		具体的方策	目標値	実績値	評価
二酸化炭素の 排出量削減	電力使用量 基準年度比 維持	・手元作業員との連携 ・設備の効率運転 ・3Sの徹底	2.750	2.852	B
			40,480kg-CO ₂ /年	41,982kg-CO ₂ /年	
	ガソリン使用量 基準年度比 維持	・手元作業員との連携 ・設備の効率運転 ・3Sの徹底	3.155	2.886	A
			238,394kg-CO ₂ /年	218,068kg-CO ₂ /年	
リサイクル（資源化）率 基準年度実績の維持		・排出事業者への分別指導 ・分別・選別作業の効率化	0.999	0.999	A
分別方法の提案・指導 基準年度比維持		・分別方法の改善 ・廃棄物の再利用 ・再資源化の推進 ・コンテナ設置の推進	60件	60件	A
緑化活動 4本/年植樹		・計画の策定 ・植樹の実施 ・今年度の実施内容の評価	4本	4本	A

評価記号 A：良好（100%以上） B：やや不足（90～100%） C：不適合（90%以下）

CO₂ 排出係数：中部電力；（2018年実績）0.452 kg-CO₂/kWh ガソリン；2.32 kg-CO₂/ℓ
軽油；2.58 kg-CO₂/ℓ 出典：2018年（H30年）環境省より

管理項目での実績

管理項目	具体的施策	項目	単位	前年 実績値	目標値	実績値	評価
水の使用量削減	洗車時の節水励行	水	m ³ /年	218	218	211	達成 (3.2%減)

（前年度の実績値を把握できていれば、その数値を追記すること。）

項目	単位	前年実績値	目標値	実績値
二酸化炭素 総排出量 （電力+ガソリン+軽油）	kg-CO ₂ /年	255,831	255,831	260,050

（前年度の実績値を把握できていれば、その数値を追記すること。）

産業廃棄物の排出実績(2021年度)混合廃棄物換算値(0.26t/m³)

産業廃棄物の種類	単位	2019年度	2020年度	2021年度
混合廃棄物(ミンチ)	t	12.01	4.73	5.20
混合廃棄物	m ³ (t)	56(14.56t)	8(2.08t)	8.5 (2.08)
合計	t	26.57	6.81	13.70 7.28

電力・燃料の使用による二酸化炭素の排出量(小数点以下切捨て)

	単位	2019年度	2020年度	2021年度
電力使用量	kWh	96,358	89,558	81,593
二酸化炭素排出量	Kg-CO ₂	44,132	41,018	37,370
燃料使用量(軽油)	ℓ	110,292	102,757	84,874
二酸化炭素排出量	Kg-CO ₂	288,854	269,121	222,285
二酸化炭素排出量(電力+燃料)	Kg-CO ₂	332,986	310,139	259,655

*中部電力のCO₂排出係数 0.458kg-CO₂/kWh(2018年度)
0.452

経済産業省・環境省の軽油排出係数 2.619kg-CO₂/ℓを参照

グリーン購入(グリーン購入商品調査・社員へのグリーン購入促進)

	単位	2019年度	2020年度	2021年度
グリーン購入	件	4	4	4

5.1 具体的環境活動の評価 (2021年度実績に対する評価)

- ・リサイクル率の維持においては、目標値を達成している。
- ・分別方法の提案・指導件数の維持では目標を達成している。
- ・電力使用量の削減の項目については未達成となったが、電力量の総量では昨年度より削減している。今年度の未達成の原因はがれき類の入荷量が少なかった為、目標設定時の入荷数量を基準にしている為このような結果になったと考えられる。
- ・燃料使用量の削減の項目については達成となった。

- ・敷地内の緑化活動では、境界側に桜の木を4本植樹した。今後も継続していきたい。
- ・管理項目である水の使用量では昨年より3.2%減少したが、今後も無駄な使用が無いように、削減に努める。
又、自社排出の廃棄物は、13.7 tと昨年より大幅に増加した。
- ・二酸化炭素総排出量は、昨年に比べ16.5%増加した。今後も削減できるような活動していく。

5.2 次年度の活動について及び今後の課題

- ・がれき類の入荷については他力本願の要素が大きいため、目標設定を3カ年の実績値を平均したものを、3カ年実績が出揃ってから翌3カ年の目標値を設定し直すというような方法に変更することを検討していく。

6. 環境関連法規の順守状況

- ・当社の事業活動に制約を受ける環境関連法規制等については、順守状況を定期的に確認し、評価の結果適正に順守されており、違反はありません。
なお、関係機関等からの指摘・苦情・訴訟はありません。

7. 最高責任者による全体の評価見直しの結果

7.1 全体評価

今年度は周辺地域での公共事業の発注や、民間企業の投資等が少なかったため、がれき等の入荷が少なく電力、燃料の目標項目で苦戦した。しかし、電力量や燃料量は減少している。

7.2 見直し評価

2021年は3カ年目標の初年度である為、今後2023年度まで目標を達成できるように、全員で取り組んでいきたい。

2020年度は、コロナ禍でがれき類の入荷が少なく、目標未達があったので2021年度からの3年間は、コロナの影響を見ながら、2020年度の維持目標とする。

8. コミュニケーション

プラント周辺の清掃活動を自主的に行った（毎月1回）

以上

別表1 適用される主な環境関連法とその要求事項の概要

区分	名称	要求事項	環境影響項目	管理部門
大気	大気汚染防止法	・設置及び構造変更時の事前届け出(知事) ・事業所、代表者の変更、廃止、譲受等の事前届け出	破碎機	プラント部門
大気	気候変動適応法	・事業円滑化のためのリスク管理(従業員の熱中症対策、ハザードマップ確認;努力義務) ・国、公共団体の気候変動対応の施策に協力	作業員 従業員	プラント部門
大気	オフロード法	・基準適合機器の使用 ・適切な燃料の使用や点検等による排ガス基準の維持	バックホウ等の建設重機	プラント部門
労働安全	労働安全衛生法	・作業計画書の作成	建設重機	プラント部門
騒音・振動	騒音、振動規制法	・特定施設の届出 ・騒音、振動の測定 ・騒音、振動規制値の順守(第×種地域)	特定建設作業	プラント部門
廃棄物	廃棄物処理法	・一般廃棄物の許可業者へ委託 ・産業廃棄物収集運搬委託契約の締結 ・産業廃棄物の委託契約の締結 ・産業廃棄物収集運搬(処理)基準順守 ・廃棄物置場の保管基準の順守 ・産業廃棄物積替え保管基準の順守 ・産業廃棄物中間処理基準の順守 ・帳簿の備付 ・マニフェストの保管 ・最終処分:委託の都度マニフェスト(二次)交付、回収、交付状況報告	紙屑、生ゴミ 廃油、廃プラスチック類 水銀使用廃棄物(廃蛍光灯) 廃酸(特管)	プラント部門
温暖化防止・廃棄物	フロン排出抑制法	・使用時:簡易点検・専門点検の責務 一定規模以上の機器の定期点検責務 ・廃棄時:回収・運搬・破壊に要する料金支払。 委託確認書・取引証明書保存(3年) ・点検記録は機器廃棄後3年保管	建設重機	プラント部門
リサイクル	資源有効利用促進法	・長期使用、再生資源・部品利用の努力義務	パソコン	事務部門
	家電リサイクル法	・買替、廃棄等業者引渡し時リサイクル料の支払	エアコン テレビ	事務部門
	小型家電リサイクル法	・使用済み小型家電の処理	デジカメ等	事務部門
	自動車リサイクル法	・車検又は買替時リサイクル料の支払	自動車	事務部門
地方条例	三重県環境基本条例	・公害防止、環境保全、環境負荷低減、市町への協力	装置 自動車 廃棄物	プラント部門
	三重県生活環境の保全に関する条例	・焼却行為の制限、水質汚濁の防止	装置、排水	プラント部門
	三重県産業廃棄物の適正な処理の推進に関する条例	・産業廃棄物適正処理、	産業廃棄物等	プラント部門
	三重県地球温暖化対策推進条例	・温室効果ガス等の排出抑制、自動車対策(アイドリングストップ等)	装置 自動車	プラント部門
	津市環境関連条例	・大気・騒音及び廃棄物の削減努力 ・省エネ、EMS導入、公共交通機関利用	装置、自動車 廃棄物	プラント部門
その他	協定・覚書	・行政・地域自治体との取決め事項		事務部門

の要求 事項	顧客要求	・EMS審査登録		事務部門
	加入組織の要請	・産業廃棄物協会・組合等の取決め事項		事務部門

改訂履歴

版 数	日 付	変更箇所・内容・理由	承認	作成
初版	2023年2月25日	制定 2020年度までは「環境活動レポート」として発行していたが、今年度から「環境報告書」として新しく制定した。	楠井	楠井